

演題名：COVID-19 後遺症(Long-COVID)にみられる神経症候

演者：高尾 昌樹

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 病院

臨床検査部・総合内科 部長

抄録：

COVID-19に罹患したとき、発熱や肺炎といった一般的な感染症の症状に加えて、嗅覚障害や味覚障害といった、通常の風邪などでは一般にみられない、様々な症状を認めることが報告されています。さらに、急性期を過ぎた時期において、数ヶ月以上にわたって、様々な身体的な不調が続くことがわかってきました。なかには、一旦体調が回復をしてから、再び不調を認めるといった場合もあります。この持続する症状を、ここではCOVID-19後遺症(Long-COVID)と呼びます。全身疲労、呼吸器疾患、心疾患、神経精神疾患、腎疾患、皮膚疾患などその症状は全身にみられます。また、こういった長期の不調を自覚されている患者さんの頻度もかなり高いものと考えられています。しかし、原因も治療法も解明されていません。ここでは、とくに神経系の症状に関して、私たちの病院で行っているコロナ後遺症外来の経験もふまえて現状を解説したいと思います。そして、今後の展望もふくめて、皆様と一緒に情報を共有させていただきたいと思います。